

2019（R1）年 10月4日 決算特別委員会

多面的機能を発揮する森林づくりと林業の活性化について

○大原委員 自由民主党を代表して、多面的機能を発揮する森林づくりと林業の活性化について質問する。「あなたたちは空っぽの言葉で、私の夢と子ども時代の夢を奪い去った」、「私たちは、大量絶滅の始まりにいます。なのにあなた方が話すのはお金のことや永遠に続く経済成長というおとぎ話ばかり」と、各国は「異常事態は理解している」と言いながらも気候変動対策に背を向けた結果、次世代にツケを回している危機的状況を、スウェーデンの16歳の少女、グレタさんは世界各国首脳を前にして語気を強め、涙を浮かべて訴えた。12日前の9月23日、温暖化が進む現状を気候異常事態と捉えるグテーレス国連事務総長の呼びかけで開催された国連の気候行動サミットでの演説である。サミットの前日には、世界150カ国以上で400万人以上の若者が参加して気候変動対策を訴えるデモ行進が行われたとの報道もあった。ここ数年、集中豪雨、猛暑、豪雪、台風、干ばつなどの気象状況に対して、観測史上1位、数十年に一度、想定外という表現をよく耳にするようになった。このような異常気象によって、日本だけではなく世界各国がたびたび大きな災害に見舞われるようになった。このような異常気象がふえたのは、二酸化炭素がふえ地球温暖化が進行したことが大きな原因だと言われている。このまま温暖化が進むと、異常気象が平年気象になってしまい、生態系が崩れたり農作物などの被害や感染症の拡大など、さまざまな悪影響をもたらすことになる。異常気象

によって、地球全体が直接的にも間接的にも多くの犠牲者が出る非常事態になるのではないかと大変心配している。子どもたちや孫たちの時代に、このような状況が現実になることは何としても食い止めなくてはならない。たびたび起こっている異常気象を前に、もはや子や孫の時代になどと悠長なことを言っている状態ではない。一人一人が意識を変え、現在を生きる私たちの責務として、地球温暖化の原因である二酸化炭素などの温室ガスの排出量を削減していく努力が必要になっていく。本市としても、地球環境問題については無関心ではないと思うが、環境局として地球温暖化をどのように捉え、現在温暖化対策としてどのように取り組んでいるか尋ねる。

△環境局長 世界的な影響の大きさから見て、人類の生存にかかわる最も重要な環境問題の一つとして認識しており、平成 28 年 12 月に策定した福岡市地球温暖化対策実行計画に温室効果ガス排出量の削減目標を定め、その達成に向け各種施策の推進に取り組んでいる。また、令和元年 5 月には気候変動適応法に基づき、実行計画を地域における気候変動適応計画に位置づけ、温室効果ガスの排出を抑制する対策である緩和と気候変動の影響による被害を回避、軽減する適応を施策の両輪として対策に取り組んでいる。具体的な取り組みの推進に当たっては、本市の地域特性を踏まえ家庭部門、業務部門、自動車部門の温室効果ガス排出量の削減に重点を置いた施策を実施し、市民、事業者の取り組みを促進するとともに、熱中症対策などの適応策についても副市長をトップに庁内推進体制を整備し、しっかりと取り組んでいる。